

極秘

電信寫

昭和13 一一八三一 暗 本 省 四月廿七日發 人

廿八日前着

廣田外務大臣 酒匂大使

第一〇五號、極秘

貴電第五二號ニ關シ（「ルゾオフ」ニ帝國領事館開設ニ關スル件）
二十三日木村ヲシテ御來示ノ趣旨ヲ極東部長代理ニ申入レシメタル
處二十四日波蘭政府ニ於テ主義上異存ナキ旨ノ回答アリタルカ其ノ
際手寫上ノ問題トシテ領事代表ニ對スル御委任狀並ニ認可狀ハ領事
任命ノ場合ニシテ發給セラルルコトト解シ差支ナキヤトノ質問アリ
タルニ付テハ爲念何分ノ御御回答アリタシ（了）



証明可トシテ發給スルヤモ
 外支官ハ其ノ直轄
 家族ニ發給シ 郵局用
 印ニ付スルニ發給輸入
 可認ハハコトヲ得スト云
 二 夫レノ支原ハ五種ナ
 三 八ヤニ發給ナレ此ノ上
 一 茲キハ到任期待ニ難キ
 一ニナラズハハコト
 在郵局事ハ特殊ノ仕
 務ヲ有ス其關係上
 任ニ支原ナラズニ
 三 南月内ハ吉也ニ於テ
 發給及因發給ヲ研究ス
 ハコト 研字ニシ
 外務省

此ノ際准々テ發給ヲ能ク
 發給スルニ建御トスル
 事ナリ同前吸ハノ方法ニ
 依リ出資得ハ限リ
 努力スルト同時ニ着々
 南領準備ヲ進大時機
 到來ノ上直ニ南領スル
 切ト思考スル
 外務省

返
答

昭和14 二二九九五三



ワルソー 七月廿二日 後發
本省 廿三日 前着

後、人

有田外務大臣

酒匂大使

第一七四號

貴電第五七號ニ關シ(後藤副領事任命ノ件)

後藤副領事ニ對シテハ御委任狀御下附アルヘキヤ當國政府ヘ通知ノ

必要アルニ付何分ノ儀御回電ヲ請フ(了)

電信寫



寫送先

祕書官 會計書 文書 儀典 人調事 文查 情化 條報 通約 米商 歐洲 東亞

次官 大臣

電信課長

昭和14 二四八八六 略 ワルソ一 七月廿八日後發 儀
 有田外務大臣 本 省 廿九日前着

第一八三號 酒匂大使
 貴電第五八號ニ關シ
 一、後藤副領事ニ對シ御委任狀御下付アラハ其ノ接到ヲ待ツテ大統領
 認可狀發給スヘキ趣ナリ
 二、右認可狀發給前ニ於テハ當館ヨリノ領事館設置並ニ後藤任命ノ正
 式文書通知ヲ受ケ之ニ對シ假認可書ヲ發給スヘキ趣ナリ
 三、就テハ客年往電第一六七號ノ次第モアリ同副領事ニ對スル御委任
 狀御下付方御取計相成度ク尙御委任狀御下付前ト雖當國政府側ト

外務省

人事課長

丸

備考
 フラジニニ到領事ニ付
 外務大臣ノ御返答ヲ發給
 スルナリ

(分類)

電信課長	主任	儀典課長	主任	發電係	昭和十四年七月二十四日起草
25.030					
電送第 18874 號	昭和十四年七月廿九日 時30分發	宛 在ポロラント 酒匂大使	發 有田大臣	名件録記	
略本	第 五八 號	件 在ルル後藤副領事 御委任狀ニ關スル件			
貴電第一七四號ニ關シ領事代理タル副領事ニ對シ貴國 大統領ニ於テ認可狀ヲ發給スル事ハ御委任狀ヲ表達スヘキ旨 右御確メノ上田電アリタリ					

外務省

ノ間ニ前記二ノ手續實行後開館方取計ヒタキ所存ナリ

(了)

外
務
省



極秘

昭和14 二四八八六 略 ワルソ 七月廿八日後發 儀

本省 廿九日前着

有田外務大臣

酒匂大使

第一八三號

貴電第五八號ニ關シ

一 後藤副領事ニ對シ御委任狀御下付アラハ其ノ接到ヲ待ツテ大統領
認可狀發給スヘキ趣ナリ

二 右認可狀發給前ニ於テハ當館ヨリノ領事館設置並ニ後藤任命ノ正
式文書通知ヲ受ケ之ニ對シ假認可書ヲ發給スヘキ趣ナリ

三 就テハ客年往電第一六七號ノ次第モアリ同副領事ニ對スル御委任
狀御下付方御取計相成度ク尙御委任狀御下付前ト雖當國政府側ト

ノ間ニ前記二ノ手續實行後開館方取計ヒタキ所存ナリ

(了)

電信寫

11/15



公 信 案	外 務 省	致候間可然御取計相成度此段申進候也		
		へ御下付可相成御委任状別紙ノ通立案本人略歴相添上奏		
		別紙		
		一、上奏書	二、御委任状案(浄書)	三、右寫
		本人略歴寫		

(日本標準規格B5)

發信用執務用		分類 類 懸案		M 2.1.0.10-91		次官 主	
主信	1	1	2	人事課長		通商局長	
附甲	1	1	2	第二課長		第三課長	
附乙	1	1	2	第四課長		第五課長	
附丙							
附丁							
備考							

文書課長	文書課發送日 昭和拾四年八月七日	淨書	正校(原稿)	昭十四年七月一日起草
主儀典課長	儀典課	主	有田外務大臣	
儀普通	第六十八號	昭十四年八月七日	日附	附屬
信受	平沼内閣總理大臣宛	發信人	有田外務大臣	
件名	ポーランド國ルヴガフ	録記	駐在帝國各領事	
御委任状立案上奏ノ件	ポーランド國ルヴガフ	駐在帝國各領事	領事	
代理副領事 後藤安嗣	駐在帝國各領事	領事	領事	

(日本標準規格B5)

(上奏案)

ポ
ー
ラ
ン
ド
國
ワ
ル
フ
グ
駐在帝國名譽總領事

代理副領事 後藤安嗣

御下付可相成御委任狀別紙ノ通立案ノ上奉供 欽閱候間御

本書御下付相成様仕度此段謹テ奏ス

昭和十四年八月七日

外務大臣 有田八郎

公
信
案

外
務
省

(日本標準規格B5)

M-0262



在山崎後藤領事御委任狀案新館創立ノ場合

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル

大日本國皇裔御名此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕ハ^{ルカ}ポ^ララ^ンド^國ニ駐在スル帝國領事ヲ置クノ必要ヲ認メ從七位勳

大等後藤安嗣ノ才幹勤勉誠實ヲ篤信シ茲ニ之ヲ^{ルカ}ラ^ンド^國ニ駐在スル

朕ノ副領事ニ任シ日本帝國ノ法令ニ準據シテ其ノ職務ヲ執行スルコトヲ命ス

朕ハ朕ノ臣民ニ命スルニ右帝國領事ノ職權ヲ承認シ其ノ委ネタル職務ノ

執行上適法ニ施爲スル所ノ一切ノ行爲ニ對シ至當ノ服從ヲ爲スヘキコトヲ以テス

外務省

朕ハ^{英知}ハ^ポニ^ミシ^ト國大統領ノ右後藤安嗣ノ^{ルカ}ラ^ンド^國ニ駐在帝國副領事タル

コトヲ公認シ地方官ヲシテ之ニ其ノ職務ノ執行上有ラユル適當ノ擁護補助ヲ加

ヘ且正當ニ其ノ官職ニ屬スヘキ一切ノ榮譽特權免除ヲ與ヘシメラレユコトヲ要望ス

神武天皇即位紀元二千五百九十九年^{昭和十四年}八月十一日^{東京皇居}ニ於

テ親ヲ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名國璽

外務大臣

2021.10.10-91

儀典課長 第三四號 昭和 昭和拾四年八月拾七日附 附屬

文書課長 文書課發送日

儀典課長 任主

淨書 正校(原稿) 附屬

昭和十四年八月十四日起草

後藤 領事御委任狀送付ノ件

在 領事館

在 領事館

有田外務大臣

八月十一日

御下付相成タルニ付譯文相添へ茲ニ送付ス例規ノ手續ニ依

公 信 案

外 務 省

日本標準規格 B5

HIROHITO,

領事御委任狀

Par la Grâce du Ciel, Empereur du Japon, placé sur le Trône occupé éternellement par la même Dynastie;

les lettres
A tous ceux qui ces présentes verront, Salut !

Ayant reconnu la nécessité de faire résider un Consul à ...LWOW.....

et étant convaincu de l'intelligence, du zèle et de la loyauté de Yasutsugu Goto....., ZYUSITII....., décoré de la sixième..... classe de Notre Ordre Impérial du Trésor-Sacré....., Nous le nommons Notre Vice... Consul..... à ...LWOW....., avec la juridiction sur..... faisant fonctions de Consul..... ;

et Nous lui enjoignons de remplir tous ses devoirs conformément aux lois et règlements de l'Empire. Nous ordonnons à Nos sujets de lui reconnaître l'autorité consulaire et de lui obéir en toutes choses faites légalement dans l'exercice des fonctions qui lui sont confiées. Nous prions donc Son Excellence Monsieur le Président de la République de Pologne..... de reconnaître Yasutsugu Goto..... en qualité de Vice... Consul..... de l'Empire du Japon à ...LWOW....., faisant fonctions de Consul, de lui faire donner par les Autorités locales compétentes la protection et l'assistance nécessaires à l'exercice de ses fonctions et de le faire jouir de tous les honneurs, privilèges et immunités généralement accordés aux Consuls.

En foi de quoi, Nous avons signé les présentes et y avons fait apposer le Sceau de l'Empire (en Notre Palais Impérial à Tokyo) le vingtième..... jour du huitième..... mois de la quatorzième..... année de Shōwa, correspondant à l'An deux mille cinq cent quatre-vingt-dix-neuf. de l'Avènement au Trône de l'Empereur Jimmu-Zinmu.

L. S.

Signé : **HIROHITO.**

Contresigné :
Ministre des Affaires Étrangères.

M-0262

0226

公
信
案

外
務
省

(日本標準規格B5)

添附書類

一、御委任状及同譯文
 文書課保管

一、右各寫

公
信
案

外
務
省

(日本標準規格B5)

リポラ下國大統領認可状ヲ得ラレタル上御委任状及譯文共
 直接同領事任地へ御轉送相成度御認可案下付ニテハ速開
 領事ノ職務執行ニ對スル同國政府ノ假承認ヲ取付テ
 此庫御委任状原文及譯文寫相添へ此段申進ス
 追テ本件認可状下付セラレタルトキハ其ノ旨認可状寫添
 附ノ上當方へモ御報告相成度此段申添フ
 本信寫送付先 ヲルグダフ



電信寫

昭和14 四〇六〇七 略 莫斯科 十一月十八日午前發 十八日夜着 傳

野村外務大臣 東郷大使

第一五八七號

往電第一五五七號ニ關シ

十七日七田ヨリ「ツアラブキン」ニ對シ本件督促セル處「ツアラブ」ハ
 (一)西「ウクライナ」合併ニ關スル本月一日附法律發布ノ結果在波蘭
 政府ノ發給セル領事認可ハ失効スルコトナレリ(二)同地域所在ノ領
 事館引揚ケ(「リクウイダーチア」)ノ管ノ人員派遣ハ原駐的ニハ
 之ヲ承認スルコトナレルモ何人ノ派遣ヲ許可スヘキヤ派遣ノ時日
 及經費ニ付テハ領事部下直接交渉照ヒタシト述ヘタルニ依リ七田

ハ後部ノ「リボフ」行ハ領事館一時引揚ノ爲ナルコトヲ述フル以外
 右(一)ノ點ニ付テハ意見ヲ述フル地位ニ非ス(二)ノ點ニ付テハ昨後日ニ
 テモ領事部下連絡スヘント述ヘ置キタル趣ナリ
 「ラトビア」へ轉知セリ